



2024-25年度 上田ロータリークラブ

- 会長 金子 良夫 ● 副会長 柳澤 雄次郎・三井 英和
- 幹事 酒巻 弘 ● 会報委員長 小林 浩太郎



第2985回例会 (令和7年5月26日)



ホームページQR

【表彰贈呈行事】

ポールハリスフェロー証明書・

ピンバッジ贈呈

◆ 関 勇治さん



金子 良夫 会長

【会長挨拶】

昨日の甲州路への家族親睦バス旅行、雨模様様が心配されましたが、雨に降られることもなく、28人の皆様にご参加いただき楽しい旅行となりました。



親睦活動・家族委員会の小熊委員長、木元さんには、道中、献身的にご尽力いただきまして誠にありがとうございました。

本日は、「信濃の国」も歌い、この歌を合唱するチャンスは残り一回となりました。だいぶ、なじんではきましたが、まだ、1番しか歌えませんし、寂しくなってきました。

昨日のバス旅行では、甲州牛御膳で食べきれないほどのごちそうが出ました。大変満足感のある旅行でした。

さて、昨日は食べなかったのですが、甲州といえば、ほうとうです。

私は、信州に来てから、食べるようになったものの一つで好きな食べ物は「ほうとう」です。ツルやさんで「ほうとう麺」を買って、自宅で野菜とともに味噌味で食べるほうとうが好きです。因みに、ほかに信州で好きな食べ物は野沢菜の油炒めです。これは、信州の食べ物の中で最高です。

脱線しましたが、ほうとうを食べる文化は、甲州のほか、佐久、上田地方に伝わっていると思えました。これは武田氏、真田氏を通じて広がったのではないかと、昔、信州に引越して来てからずつと思っていました。

昨日、石和温泉で、穴山氏ゆかりの地というノボリを見て、それを確信しました。

真田十勇士の穴山小助が実在したかどうかは別にして、武田家家臣の穴山氏が真田家の家臣になったことは確かです。武田氏真田家のつながりを考えれば、陣中に食べたと言われる「ほうとう」が清里、あるいは諏訪路を通して、佐久、上田地方につたわったのは確かではないかと考えていました。

これが昨日、私がバスの中で考えていたことです。

これは、私の仮説なので、上田ではほうとうを食べる習慣はないよとか、真実は違うなどと、どなたか詳しく知っている方がいましたら教えてください。

【会員卓話】

上原 文明さん

皆さんこんにちは、12月に入会させていただいた、武舎煙火工業株式会社の上原文明です。クラブ会報・公共イメージ向上委員会に所属させていただいており、いつも2番テーブルにおりますので、皆様との昼の交流が少なくなってしまっておりますので、夜の交流会にはできるだけ参加させていただきながら、顔と名前を覚えていただけたら嬉しい限りです。



それでは、本日は皆様の貴重なお時間をいただき簡単な自己紹介と、皆様があまり知らない花火の話を少しお話しできればと思います。

まず自己紹介ですが、上原文明(旧姓中山)昭和44年8月26日生まれの今年56歳になります。神川小、一中、上田東と進み関東の大学で4年過ごし丸子の松山株式会社に入社しました。営業として入社して岩見沢にある北海道営業所で約4年、後志、渡島松山地方を担当して、クボタ、ヤンマー、井関、三菱、プラスして外車メーカー3社程をルート営業しておりました。今となれば、この時の営業が花火の世界に入ってから非常に役立っております。

トラクターメーカーや営業所やセールスさんにより、松山を売ってくれる人、ライバルを売る人などいっしょり、いかに人間関係を築いていくかにより売り上げも変化し勉強になりました。花火大会の多くは、主催者様が地方公共団体様であり、多くは大体2年から3年で移動されていきます。人間関係をいかに早く築くかが、あとあとの関係に影響してきます。

農機具屋も楽しくなってきたのですが、ただ私には、とても苦手なことがあり松山を辞める事になるのです。機械をいじれないのです。基本トラクターメーカーさんがお客さんの依頼で修理をするのですが、当時でも100馬力位のトラクターで240cmのロータリーで畑を耕している時に、壊れると時間的ロスが大変なので、メーカーが呼ばれるのです。当時は工具をもって修理するふりをして、ちょっとここまで悪いと技術のものでないと修理できないと嘘を言って、岩見沢まで往復5時間で代わりの機械を持ってくるので、飯でも食べてと、修理をいかにしないか、考えていました。出先の営業所だからできたのですが、4年後の8月に長野の本社へ帰って滋賀と福井を担当するとそんなことはできるはずもなく、12月に退職しました。翌年の3月に武舎煙火工業株式会社に事務職として入社し、いつのまにか社長になっていました。尚、当時はこちらにいらっしゃる金子会長はじめ、多くの方のお力添えがありました事もあり、今このような場所にたたさせていただいております。

それではやっとな皆さんの興味を持っている花火の話ですが、日本には一般社団法人日本煙火協会という私たち花火屋の全国組織があります。こちらに加盟している花火を扱っている業者が304社あります。この中には私もみたいに花火を製造している会社が145社、製造していない打上販売を行っている会社が159社に分類されます。長野県内でも製造が13社、販売が3社の16社が長野県花火組合に加盟しています。花火の産地として有名なのは長野、新潟、愛知、秋田が挙げられます。長野は生産数ではトップクラスです。新潟は大玉と言わ

れる6号以上の玉の生産数は全国一とされています。愛知は三河花火を発祥に手持ち花火も含めて花火業者が一番多く、秋田は大曲(現大仙市)の花火が全国的に有名です。内閣総理大臣賞が授与される花火大会は秋田と茨城の土浦の2つだけです。

先ほどお話をした、私たちのように花火を製造している会社の1年間の流れをお話しさせていただきたいと思っております。(皆さん夏以外何をしているか興味があるみたいですので)



7月、8月のトップシーズンが終わると、9月から打ち上げに使用した筒、ラッシングベルトやシートなどの資材等の手入れや修理などをしてきちんと保管します。

10月からは、星といわれる花火の光の元となるものを屋外で一生懸命に量産していきます。これが無いと12月ころからの屋内での玉込め作業が出来なくなり、仕事に支障が生じます。(今日、前に展示してある物には、紅や緑などの色がついていますが、分かりやすくするために色を付けてありますが、実際の星はすべて黒で混ざると見分けはつきません)

12月ころからは工房と呼ばれる部屋で玉込めという、実際に星を玉に入れて花火の玉にする作業を行います。玉込め作業である程度の量を確保します。

2月ころから、玉貼機で玉にクラフト紙を貼っていく作業になります。(基本的に2.5号玉から5号玉まで使用しています。それ以上の玉は手張りで貼っています)機械はコロナで従業員の皆さんに休んでいただいている時に、事業承継補助金で導入したのですが、生産能力が格段に向上しました。それとともに、玉貼機のおかげで花火玉作りのワークショップも実施できるようになり、首都圏の富裕層向けにJTB様と契約をして販路拡大に取り組んでいる最中です。(去年はベストドレッサー賞に出展料を払って初めて展示会にも出展しました)

3月の暖かくなってきたときからは、再び不足している星づくりをして、玉込め作業をしての繰り返しで過ごしていきます。

6月ごろになり7月、8月の花火の内容も決まってくるころもあり、その準備を始めつつ、ギリギリまで玉の製造をしていきます。花火大会のご注文もいろいろあり日程だけ決まり、直前まで協賛金を集めてくださり、2週間くらい前に正式に確定するところや、上田の花火のように1ヶ月以上前に確定してくださる所と主催者様によりまちまちになります。その為、私たち花火屋は少量多品種の見込生産でいかに在庫を確保しておくかに、かかってきます。コロナで従業員の皆さんにお休みいただき、2年間製造はしていなかったのですが、在庫を持っていたので、シークレット花火やサプライズ花火を実施することができました。ちなみに、多くの花火は2年以上保管しておいても普通に打ち上げが可能です。中には薬品の変化が敏感なものもあり、そういう種類のものは、1年以内に使用しています。

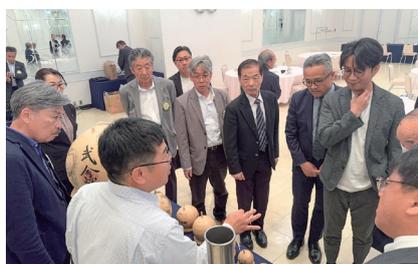
そんなことをしながら、7月の海の日前日の日曜日(今年は7月20日)上山田の夏祭りの花火がシーズンになります。7月8月で収入の約9割を稼いで、そのお金で翌年の上山田の入金になるまでが、金銭的にも非常にやりくりが大変な特殊な花火の業界です。

ちなみに弊社で2.5号の(直径7.5cm)から尺玉と呼ばれる10号玉(直径30cm)までの大きさの玉を年間でだいたい18,000発位の玉を作っています。

簡単な花火屋の一年間の流れをお話ししましたが、製造業者場合になります。

最後に本日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。花火はなくても困らず、生活に支障をきたすものでもありません。どう考えても右肩上がりの業界ではない中で落ち込みを少なくして、5割減なのか3割減なのか1割減なのかここからが企業の踏ん張りどころだと思いますので、多くの方に夏の風物詩とってもてはやしていただいているうちに、花火のファンを増やしていく企業努力をして東信唯一の花火製造工場として次の代に引き継ぎたいと思っております。この夏も花火の音がしたら外を眺めてもらえたら幸いです。

本日は大変ありがとうございました。



[幹事報告]

酒巻 弘 幹事

1. 地区事務所

2025年規程審議会

クラブと地区にとっての重要な
変更(R I 日本事務局より)

2025学年度米山奨学生クラブ訪問について

ミャンマー大地震に対する支援金について報告

コーディネーターニュース2025年6月号

ロータリー財団寄付明細表(2025年4月)

米山記念奨学会

①寄付金納入明細総合表(2025年4月)

②寄付金納入明細表(2025年4月)

③表彰一覧(2025年4月)

④寄付金傾向(2025年4月)

大船渡大規模山林火災支援金について

2. 長野東RC メールアドレス変更のお知らせ

3. 松本西南RC 例会場変更のお知らせ

4. 須坂RC 例会場変更のお知らせ

5. 例会変更 上田西RC 5月22日(木) 定受なし

29日(木) 定受なし

6月19日(木) 定受なし

6. 会報恵送 松本西南RC

[ニコニコBOX]

田中 克明 委員長

飯島幸宏さん 石井懋人さん

出田行徳さん 伊藤典夫さん 上原

文明さん 内河利夫さん 小熊

直人さん 大日方新治さん 織

英子さん 金子良夫さん 上島孝雄さん 柄澤章司さん

木本昂さん 窪田秀徳さん 小山宏幸さん 佐藤倫さん

斉藤達也さん 酒井喜雄さん 酒巻弘さん 滋野眞さん

鈴木芳朋さん 春原宏紀さん 関啓治さん 滝沢秀一さん

竹田和徳さん 田中克明さん 田邊利江子さん 保科

茂久さん 三井英和さん 矢島康夫さん

本日喜投額 30名 ￥ 42,000

累計 ￥1,757,000

[例会の記録]

司会：保科 茂久 会場・出席委員長

斉唱：ロータリーソング 「信濃の国」

●表彰贈呈行事

ポールハリスフェロー証明書・ピンバッジ贈呈

関 勇治さん

●会長挨拶 ●幹事報告

●会員卓話 上原 文明さん



[ラッキー賞]

- 酒井 喜雄さん(滝沢秀一さんより 甲州牛肉しぐれ)
- 織 英子さん(酒巻弘さんより 甲州牛肉しぐれ)
- 上原 文明さん(柳澤雄次郎さんより 信玄餅)
- 田中 克明さん(柳澤雄次郎さんより 信玄餅)
- 竹田 和徳さん(小林浩太郎さんより 巨峰ワイン)
- 鈴木 芳朋さん(小熊直人さんより 甲州お菓子セット)
- 春原 宏紀さん(金子良夫会長より 生信玄餅)
- 柄澤 章司さん(金子良夫会長より ホタテ甲州煮)
- 出田 行徳さん(金子良夫会長より

ビンテージ甲州ワイン)

- 大日方新治さん(窪田秀徳さんより 生信玄餅)
- 酒巻 弘さん(滋野眞さんより 特別純米酒つきよしの)
- 三井 英和さん(出田行徳さんより 博多お菓子通りもん)
- 上島 孝雄さん(木本昂さんより 信玄餅)
- 保科 茂久さん(内河利夫さんより 生信玄餅)

[出席報告]



保科 茂久 委員長

	本日	前々回 (5/12)
会 員 数	53	53
出席ベース	51	51
出席者数	38 コロナ欠席0	39
出席免除(b) ()内は出席者数	5(3)	4(2)
出席免除(a)	0	0
メイクアップ ()内は Make up 後		2(41) コロナ欠席0
出席率	74.51	80.39

[次回例会予定]

6月9日(月) 小委員長 退任あいさつ

(6月2日発行)

【会報担当】 小林 浩太郎 会報委員長

UEDA ROTARY CLUB

ご家族同伴旅行に行ってきました

2025.5.25 sun



5月25日、心配だった雨も上がり、上田ロータリークラブのご家族同伴旅行が開催されました。行先は山梨県。勝沼ぶどうの丘でワインの試飲をたしなみ、石和常磐ホテルの豪勢なランチを頂戴し、庭園などを見学。台ヶ原宿場町では生信玄餅を堪能し、非常に有意義な旅行となりました。ご参加いただきました28名の皆様。ありがとうございました。

